

11月11日、ローマ法王庁が主催する国際会議で、「原爆を生き延びて」と題して証言する和田さん



《プロフィール》

- ・神奈川県横浜市在住。横浜市原爆被災者の会 会長(中学、高校、専門学校の教師経験)。1歳10か月の時、長崎の自宅屋内(爆心から2.9Km)で被爆
- ・1985年、東京都大田区原爆被害者の会 役員
- ・2009年、神奈川県横浜市原爆被災者の会 副会長
- ・2014年、神奈川県原爆被災者の会 役員
- ・2015年、NPT再検討会議ニューヨーク行動に参加
- ・2015年～日本被団協 事務局次長。2016年8月まで、国連欧州本部で開かれた多国間核軍備撤廃交渉の作業部会に参加し、訴える。
- ・2017年6月、核兵器禁止条約交渉国連会議参加
- ・2017年11月、バチカンで開かれた国際会議「核兵器のない世界と統合的軍縮への展望」に参加し、訴える。

参加無料

どなたでも
参加できます

いまこそなくそう! 核兵器 in岩手

「ヒバクシャ署名 岩手の会」

20万筆へ!

ジャンプアップ集会

2月18日(日)

10:30~12:30

県水産会館5階大会議室

(盛岡市内丸16-1 TEL019-623-8141)

〔記念スピーチ〕

日本被団協事務局次長

和田 征子 さん

- 高校生平和大使のスピーチ
- ヒバクシャ署名取り組みの経験交流
- 各界からの激励あいさつ

2018年4月までに署名20万筆へジャンプアップ! (2017年11月現在14万5千筆)

広島・長崎の原爆投下から73年。人類史上初めて、核兵器禁止条約が7月の国連会議で122カ国の賛成で採択されました。そして12月には、この条約採択に大きく貢献したことが認められ、国際NGO「ICAN」がノーベル平和賞を授賞しました。式典には、被爆者が招待され、サーロー節子さんが、被爆者としてスピーチを行いました。世界は大きく変わろうとしています。

「ヒバクシャ署名岩手の会」の最終目標は、2020年までに50万筆。まずは2018年4月のNPT再検討会議準備会までに20万筆を集めるために、ジャンプアップ集会を開催します。国連会議にも参加した和田さんのお話を聞き、学び合い、交流し、決意を固めあいましょう。ご参加お待ちしております。

主催 ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会

【幹事団体】 岩手県原爆被害者団体協議会
岩手県生活協同組合連合会
平和環境岩手県センター
原水爆禁止岩手県協議会

電話・FAX 兼 019-622-4635
電話 019-684-2225 FAX684-2227
電話 019-623-9201 FAX623-9204
電話・FAX 兼用 019-622-4469